

## 第 1 学年 医学部進学希望者向けガイダンス

7 月 19 日(水)放課後、会議室にて、第 1 学年を対象にした「医学部進学希望者向けガイダンス」を実施しました。28 名の生徒が参加しました。

はじめに、本校進路指導部長の鎌田先生から説明がありました。医学コース設置の経緯、本学年は医学コース第 4 期生になること、2 年生からは月 1 回程度のプログラムに参加すること、理系と同一カリキュラムを学ぶこと、先輩方は部活動と両立させながら勉学に励んでいる人も多いという説明を頂きました。励ましの言葉の一方で、医学部進学の難しさもお話しされました。本校のプログラムを以てしても、現役合格率が非常に低く、少子化の影響は受けているものの、依然として浪人生の数が多く、現役合格は東京大学と同レベルに非常に難しいとのことでした。その高い壁に挑戦すべく、「精神的タフさ」を身に付けるべきだと強調されていました。具体的には欠席・遅刻・早退はしないことと、1 年次の英数国の定着の重要性と、理科の早期学習の必要性です。生徒たちは真剣なまなざしで聞き、自分たちが歩む道の険しさを分かろうとしていました。

次に、医学コーディネーターの宮内先生から、医学部設置校について、入試の実情、学費などについて説明がありました。医学コース設置の背景に、本県の医師不足問題がありますが、それには歴史的な背景があることを知りました。また、医学部の募集の仕方に「一般枠」と「地域枠」というものがあり、地域枠はその大学がある県での勤務が義務付けられているのだと説明がありました。さらに、自治医科大学・産業医科大学・防衛医科大学校のように特殊な大学についても説明がありました。学費については、国公立大学医学部は 350 万程度、また私立医学部は 3500 万から 4000 万程かかるとのことでした。共通テストで高い得点率が必要になるのはもちろんのこと、多くの医学部は 2 次試験の受験科目も多く、また、面接も課されることから、日ごろから時事問題や医療問題について知見を深め、また、批判的なものの見方・考え方が必要だと感じました。学費が高いことで知られる医学部ですが、各自治体には様々な就学支援金制度があることも説明されました。

お二人の先生方のお話から、医学部進学を現役で勝ち取るために 1 年生の今出来ることは、早くからの強い意思決定と苦手科目を作らない対策、そして保護者にその意思を明示することだと感じました。1 年生のうちから積極的にプログラムに参加して、最新の情報を入手し、なりたい医師像を作り上げていきたいです。